

付録／索引

付録	144
故障とお考えになる前に	144
再起動する	144
周辺機器のご紹介	145
市販のステレオイヤホンを使用する	145
ソフトウェアを更新する	146
アフターサービスについて	147
主な仕様	148
利用できるデータの種類	148
携帯電話機の比吸収率などについて	148
FCC notice.....	149
FCC RF exposure information.....	149
Body-worn operation	149
Declaration of Conformity.....	149
輸出管理規制	149
知的財産権について	149
おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意.....	151
『au Wi-Fi SPOT』利用規約.....	152
索引	153

付録

アフターサービスや主な仕様などについてご確認いただけます。

故障とお考えになる前に

症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	• 内蔵電池は充電されていますか？	P.24
充電ができない	• 指定の充電用機器は正しく取り付けられていますか？ • FJL22や卓上ホルダの充電端子などが汚れていませんか？汚れた場合は乾いた綿棒などで掃除してください。 • microUSBケーブル01 (別売) をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか？ • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FJL22の温度が上昇して充電を止める場合があります。その場合は、FJL22の温度が下がれば充電動作に入ります。	P.24
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、アプリを起動中に、FJL22や充電用のアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。	P.12、P.24
操作中・充電中に熱くなり、機能が停止する	• FJL22の温度が高い状態が続く場合は、充電または一部機能をご利用できない場合があります。FJL22の温度が下がると、お待ちください。	-
電池の使用時間が短い	• 圏外状態で長い時間放置されるようなことはありませんか？ • 内蔵電池が寿命となっていませんか？ • 使用していないアプリケーションや機能が起動していませんか？	P.13、P.24、P.35
電源が勝手に切れる	• 内蔵電池は充電されていますか？	P.24
タップしても正しく操作できない	• 手袋をしたままで操作していませんか？ • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ • ディスプレイにシールやシート類(覗き見防止シートなど)を貼っていませんか？ • ディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。	P.30
画面をタップしても動かない	• 電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。 • 画面ロックが設定されていませんか？ • タッチブロックモードが有効になっていませんか？	P.25、P.26、P.36
画面をタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い	• FJL22に大量のデータが保存されているときや、FJL22とmicroSDカード(市販品)の間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	-
データが正常に表示されない／タッチパネルが正しく動かない	• FJL22を再起動してください。	P.144
ボタンを押しても動かない	• スリープモードになっていませんか？ Ⓜまたは指紋センサーを押してスリープモードを解除してください。	P.26
FJL22の動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない	• FJL22のメモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなり警告メッセージが表示されたら、不要なアプリケーションを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.94、P.122
[UIMカードが挿入されていません]などと表示される	• au Micro IC Card (LTE) が取り付けられていますか？ • au Micro IC Card (LTE) が正しく取り付けられていますか？	P.23
電話がかかけられない	• au Micro IC Card (LTE) が正しく取り付けられていますか？ • 電話番号が間違っていないですか？(市外局番から入力していますか？) • 機内モードがオンになっていませんか？ • エリア設定が間違っていないですか？	P.23、P.36、P.48、P.139
電話がかかってこない	• 電波は十分に届いていますか？ • サービスエリア外にいませんか？ • 機内モードが設定されていませんか？ • エリア設定が間違っていないですか？ • 着信転送サービスのフル転送を設定していませんか？	P.31、P.36、P.139、P.132

症状	チェックする箇所	参照先
着信音が鳴らない	• マナーモードを設定していませんか？ • 着信転送サービスのフル転送を設定していませんか？	P.36、P.132
電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない	• 電源を入れ直すか、au Micro IC Card (LTE) を取り付け直してください。 • 電波の性質により、電波が強クアンテナマークが4本表示されている状態(■)でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 回線の混雑によりつながりにくい場合があります。しばらくしてからおかけ直しください。	P.23、P.25
ディスプレイが暗い	• 「画面の明るさ」を確認してください。 • エコモードの設定をしていませんか？ • 近接センサーを指などでおおっていませんか？ • FJL22の温度が高い状態が続く場合は、画面の明るさを抑える場合があります。	P.22、P.120、P.122
相手の声が聞こえにくい	• 受話音量を変更していませんか？ • 受話口を耳でふさいでいませんか？	P.48
新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない	• PCメール、Gmailの「メール着信通知」がオフになっていませんか？ • SMSの「通知」がオフになっていませんか？	P.67、P.69、P.70
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズがくもっていたり汚れが付着していないかを確認してください。	P.85
テレビが視聴できない	• 地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？ • 視聴している場所が「チャンネル設定」と合っていますか？ • 付属のTVアンテナケーブルを正しく接続していませんか？	P.81、P.84
NFCまたはおサイフケータイ®が使えない	• 内蔵電池は充電されていますか？ • [NFC / おサイフケータイ ロック] を利用していませんか？ • FJL22のふたがある位置を読み取り機にかざしていますか？	P.24、P.92、P.92
microSDカードを認識しない	• microSDカード(市販品)のマウントを解除していませんか？ • microSDカード(市販品)を正しくセットしていませんか？	P.106、P.106
カーナビやハンズフリー機器などのBluetooth®対応機器を接続した状態でFJL22から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FJL22の電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。	P.25
指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに警告メッセージが表示され、操作できない	• センサー表面がぬれていたり、結露していませんか？柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。	-
パソコンなどとFJL22を接続したときに指紋認証できない	• デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器とFJL22をmicroUSBケーブル01 (別売) で接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証ができない場合があります。FJL22を機器から取り外して指紋認証を行ってください。	-

• 上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。

- <http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>
- auの「よくあるご質問」と「みんなからの質問」を集めたQ&Aサイト「au Q&A プラス」もご参照ください。
au Q&A プラス
<http://csqa.kddi.com/>

再起動する

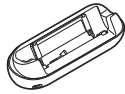
データが正常に表示されなかったり、タップやキー操作が正しく動かない場合は、再起動してみてください。

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで、Ⓜを押したままにする

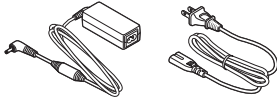
2 「再起動」→「OK」

周辺機器のご紹介

- 急速充電対応卓上ホルダ(FJL22PUA)



- 卓上ホルダ専用ACアダプタ(FJL22PQA)



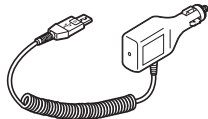
- フルセグ対応TVアンテナケーブル(O1FJHSA)



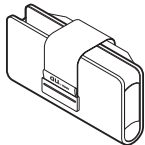
- ポータブル充電器O2(O301PFA) (別売)



- 共通DCアダプタO3(O301PEA) (別売)

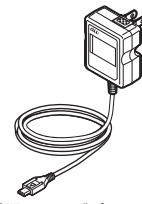


- au キャリングケースFブラック(O105FCA) (別売)
au キャリングケースGブラック(O106FCA) (別売)



au キャリングケース
Fブラック

- microUSBケーブルO1(O301HVA) (別売)
microUSBケーブルO1 ネイビー(O301HBA) (別売)
microUSBケーブルO1 グリーン(O301HGA) (別売)
microUSBケーブルO1 ピンク(O301HPA) (別売)
microUSBケーブルO1 ブルー(O301HLA) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)(L02P001W) (別売)
AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R) (別売)
AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L) (別売)
AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P) (別売)
AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)(L02P001N) (別売)
共通ACアダプタO3(O301PQA) (別売)
共通ACアダプタO3 ネイビー(O301PBA) (別売)
共通ACアダプタO3 グリーン(O301PGA) (別売)
共通ACアダプタO3 ピンク(O301PPA) (別売)
共通ACアダプタO3 ブルー(O301PLA) (別売)
共通ACアダプタO4(O401PWA) (別売)



共通 AC アダプタ O4

- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
- AC Adapter JUPITRIS(各色)は、共通ACアダプタO3と共通の仕様です。

memo

- ◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)にてご確認ください。お客さまセンターにお問い合わせください。
- ◎ FJL22は、ASYNC/FAX通信は非対応です。
- ◎ ここで紹介している周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。ただし、一部の周辺機器は購入できない場合があります。パソコンから：<http://auonlineshop.kddi.com/>

市販のステレオイヤホンを使用する

FJL22のステレオイヤホン端子にステレオイヤホン(市販品)を接続すると、通話中の相手の声や動画/音楽の再生音をステレオイヤホンで聞くことができます。

1 ステレオイヤホンのプラグをFJL22のステレオイヤホン端子に差し込む

2 「端末のマイク」(FJL22のマイク)/「イヤホンマイク」

- マイクなしステレオイヤホンを接続した場合は、「端末のマイク」をタップします。マイク付きステレオイヤホン接続し、ステレオイヤホンのマイクから相手に自分の声を送りたい場合は、「イヤホンマイク」をタップします。
- イヤホンランチャー設定の「機能を有効にする」にチェックが付いている場合は、イヤホンランチャー画面が表示されます。イヤホン接続して使用するアプリケーションをすばやく起動できます(▶P.121)。
- ステレオイヤホン接続中は、ステータスバーを下にドラッグ→「イヤホン接続」→「端末のマイク」/「イヤホンマイク」をタップするとマイク入力を切り替えられます。

memo

- ◎ ステレオイヤホンプラグを接続するときは、ステレオイヤホン端子内部にほこりや水滴などがいないことを確認してください。
- ◎ テレビを視聴する場合は、付属のTVアンテナケーブルとステレオイヤホン接続してからご利用ください。

ソフトウェアを更新する


ソフトウェア更新を実行すると、FJL22のソフトウェアを最新にすることができます。

- ソフトウェア更新を実行するには、LTE/3Gデータ通信または無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの環境が必要です。
- 更新する方法は更新のお知らせを受信してから更新する方法と、設定メニューからソフトウェア更新が必要かを確認してから更新する方法があります。更新方法にかかわらず、ソフトウェア更新前と更新後にFJL22が自動的に再起動します。

更新のお知らせを受信してから更新する

1 ソフトウェア更新のお知らせを受信

ステータスバーにが表示されます。

- Wi-Fi®ネットワーク接続中は、は表示されず、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードが開始されます。操作②に進みます。

2 ステータスバーを下にドラッグ→「新しいソフトウェアがあります」

3 ソフトウェア更新の画面で「データ取得開始」

ソフトウェア更新用データのダウンロードが始まり、完了するとソフトウェア更新の確認画面が表示されます。

■ すぐに更新する場合

4 「今すぐ更新」

FJL22が再起動してソフトウェアが更新されます。

■ 日時を指定して更新する場合

4 「日時を指定して更新」→日付を設定→「完了」→時刻を設定→「完了」

更新開始日時が設定されます。

- 指定した日時になると、ソフトウェア更新開始の通知画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。何も操作しないと約3分後にFJL22が再起動してソフトウェアが更新されます。

memo

- ◎ FJL22では、定期的(7日毎)にソフトウェア更新が必要かどうかを自動で確認しています。更新が必要な場合に更新のお知らせを受信し、ソフトウェア更新を実行することができます。なお、自動確認時は、LTE/3Gデータ通信を利用するため、パケット通信料がかかります。この機能は、停止することはできませんので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 「日付を指定して更新」では、現在時刻の2分後から、7日後の23時59分まで設定できます。
- ◎ 更新開始日時を設定した後で、「日付と時刻」の設定で、時刻を更新開始日時より先の日時に設定した場合は、すぐにソフトウェア更新が開始します。

ソフトウェア更新が必要かを確認してから更新する

1 ホーム画面で→「本体設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「ソフトウェア更新」

FJL22のソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。

- 「お使いのシステムは最新です」と表示された場合は、「OK」をタップして、引き続きご利用ください。
- 「最新のソフトウェアが見つかりました」と表示された場合は、「更新のお知らせを受信してから更新する」(▶P.146)の操作③以降の操作を行ってください。

■ ご利用上の注意

- LTE/3Gデータ通信を利用した場合は、パケット通信料がかかります。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータ)や設定情報は変更されません。ただし、お客様の本製品の状態(故障・破損・水ぬれなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。
- ソフトウェア更新中にFJL22の操作を行うと、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗すると、FJL22が使用できなくなる場合があります。FJL22が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのFJL22本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額399円、税込)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスLTEの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card (LTE)について

au Micro IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について)

一般電話からは ☎0077-7-113(通話料無料)

au電話からは 局番なしの113(通話料無料)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話 / au電話から

☎0120-925-919(通話料無料)

受付時間 9:00~21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容			安心ケータイサポートプラスLTE	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料 (3年保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
	水濡れ、全損		10,500円	
	盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※ 金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

- ◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
- ◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。
- ◎ 本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
- ※ 詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

- ◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- ◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

サイズ	高さ約140mm×幅約71mm×厚さ約10.1mm	
質量	約149g	
メモリ	内蔵 (ROM)	32GB
	外部	microSDカード/microSDHCカード/microSDXCカード(市販品)(最大64GB)
連続待受時間*1	国内	約740時間(3G使用時) 約650時間(LTE使用時)
	海外 (GSM)	約770時間
連続通話時間*2	国内	約940分
	海外 (GSM)	約680分
連続テザリング時間	約630分(WAN側3G)	
	約540分(WAN側LTE)	
Wi-Fi®テザリング最大接続数	10台	
卓上ホルダでの充電時間	約110分*3	
共通ACアダプタO4(別売)での充電時間	約160分	
共通DCアダプタO3(別売)での充電時間	約350分	
ディスプレイ	種類	RAM搭載TFT液晶
	サイズ	約5.0インチ
	最大色数	約1,677万色
	ドット数	横1,080ドット×縦1,920ドット(フルHD)
アウトカメラ有効画素数	約1,310万画素	
インカメラ有効画素数	約125万画素	
動画 (最大撮影サイズ/容量)	フルHD1,080P/2GBまで	
静止画 (最大撮影サイズ)	4,128×3,096	
デジタルズーム	最大約12.9倍(32段階)	
無線LAN(Wi-Fi®)機能	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠(Wi-Fi®テザリングはIEEE802.11b/g/n)	
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0に準拠*4
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 1
	見通し通信距離*5	約10m以内
	対応プロファイル*6	HFP(Hands-Free Profile) HSP(Headset Profile) OPP(Object Push Profile) HID(Human Interface Device Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) DUN*7(Dialup Networking Profile) SPP(Serial Port Profile) HDP(Health Devices Profile) PASP(Phone Alert Status Profile) ANP(Alert Notification Profile) TIP(Time Profile) PXP(Proximity Profile) FMP(Find Me Profile)
テレビ(連続視聴可能時間)*8	フルセグ	約4時間30分
	ワンセグ	約7時間10分
内蔵電池	使用電池	リチウムイオン電池
	電圧	3.75V
	容量	2,600mAh(9.8Wh)

*1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか弱い場所)などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。

*2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

*3 卓上ホルダとACアダプタ(付属品)を接続した場合の時間の目安です。

*4 FJL22およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

*5 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

*6 Bluetooth®通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

*7 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。

ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

*8 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

利用できるデータの種類

FJL22は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

データ	ファイル形式
音	3GPP、MPEG-4、ADTS raw AAC、MPEG-TS、FLAC、MP3、MIDI Type 0 and 1、RTTTL/RTX、OTA、iMelody、Ogg、Matroska、WAVE、WMA
静止画	JPEG、BMP、GIF、PNG、WebP
動画	WMV9、H.264、H.263、MPEG-4、VC-1、VP8

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種FJL22の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。

この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.460W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(O105FCA)(別売)/auキャリングケースGブラック(O106FCA)(別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します*2。

KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(O105FCA)(別売)/auキャリングケースGブラック(O106FCA)(別売)をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

auのホームページ

<http://www.au.kddi.com/>

富士通のホームページ

<http://www.fmwORLD.net/product/phone/au/sar/>

*1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

*2 携帯電話機本体を側頭部以外でご利用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)の一部を改正する省令が2013年8月に公布され、2014年4月1日に施行される予定です。

FCC notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.40 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.57 W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID YUW-FJL22. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at <http://ctia.org/>.

Declaration of Conformity

The product "FJL22" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

The Declaration of Conformity is found on

<http://www.fmworld.net/product/phone/>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.

Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radiofrequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.435 W/kg for HEAD, 0.362 W/kg for BODY. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

- * The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- ** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- *** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Warning

This device has been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

Prevention of Hearing Loss

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.



Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様ご自身の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Bluetooth® smart readyワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、富士通株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Direct、Miracastは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。



- Microsoft Excel, Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel, Wordのように表記している場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。
- ACCESS, ACCESSロゴ, NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。Copyright © 2013 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS NetFront

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- ㊦は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Copyright (C) 2012 DigiOn, Inc. All rights reserved. デジオン, DigiOn, DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。
- StationTV®は株式会社ピクセラの登録商標です。
- TouchSense® Technology and MOTIV™ Integrator Licensed from Immersion Corporation and protected under one or more of the following United States Patents: 5844392, 5959613, 6088017, 6104158, 6147674, 6275213, 6278439, 6300936, 6424333, 6424356, 6429846, 7091948, 7154470, 7168042, 7191191, 7209117, 7218310, 7369115, 7592999, 7623114, 7639232, 7656388, 7701438, 7765333, 7779166, 7821493, 7969288 and additional patents pending.
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- FlickrはYahoo, Inc.の登録商標です。
- Google, Googleロゴ, Android, Androidロゴ, Google Play, Google Playロゴ, Google Chrome, Google Chromeロゴ, Gmail, Google Calendar, Google マップ, Google マップナビ, Google +ハンアウト, Google検索, Google 音声検索, Google+, Google+ローカル, PicasaおよびYouTubeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 「Jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- DLNA®, DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance. 本機のDLNA認証は富士通モバイルコミュニケーションズ株式会社が取得しました。
- ロヴィ、Rovi, Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国 Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。



StationTV



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby,ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- MHLおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Copyright © 2010 - Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.
- WPAはWi-Fi Allianceの商標です。
- 「ぴったりボイス」「あわせるボイス」「響カット」「プライベートモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- aptXはCSR社の登録商標です。
- EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



■ その他


- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用するには、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限り)を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。
- libtiff
Copyright® 1988-1997 Sam Leffler
Copyright® 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

■ Windowsの表記について

- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに富士通モバイルコミュニケーションズ株式会社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれております。
ライセンスに関する詳細は、FJL22のホーム画面で→「本体設定」→「端末情報」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」をタップしてご参照ください。
- オープンソースライセンスに基づき富士通モバイルコミュニケーションズ株式会社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/>

おサイフケータイ®対応サービス ご利用上の注意

■ ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1.おサイフケータイ®対応サービスについて

- おサイフケータイ®対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種(以下、au ICカードといいます)を利用したサービスです。
NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信(P2P)機能をご利用いただけます。
- おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2.FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

- お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
- FeliCaチップ内のデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます)及びau ICカードに保存されたデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます)の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
- おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPiItにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。
- その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3.FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

- おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCaチップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
- 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
- auショップもしくはPiPiItは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があります。十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身のFeliCaチップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけません場合があります。
4. 機内モード設定中は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけません場合があります。

『au Wi-Fi SPOT』利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用規約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス(以下「当社」といいます。))は、この利用規約(以下「本規約」といいます。))に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者(以下「KDDI等」といいます。))の通信サービスの契約者(以下の3.項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。))に対して、『au Wi-Fi SPOT』(以下「本サービス」といいます)を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

1. 当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの(以下「お客さま」といいます。))はこれを守り遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。
2. 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。
3. 本サービスの提供対象者と利用可能エリアは、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。
4. 本サービスの提供は3.項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。
5. 本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。

6. 国際ローミングサービスの取扱いは次によります。

- お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
 - お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
 - 当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
 - お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等(知的財産権その他の権利の侵害等をいう。))の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
 - お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。
7. 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。なお、ご利用のプランによっては国際ローミングサービスがご利用になれませんので、Web等でご確認ください。
 - 利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。
 - 通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
 8. 本サービスの利用により生じた債権が当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。
 9. 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。
 10. お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
 11. 本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。
 12. 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
 - サービスの紹介、提案、および申込受付のため
 - サービスの申込に基づくお客さまの確認のため
 - サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
 - サービスの提供に関する妥当性の判断のため
 - 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
 - お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
 - 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
 - ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
 - サービスの終了後の管理のため
 - その他お客さまのお取引を適切かつ円滑に履行するため
 13. 本サービス又は本規約に関してお客さまの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本改訂規約は、2013年10月31日から実施します。

索引

数字 / アルファベット

Android	
アプリ	94
ATOK	38
設定	41
単語登録	41
au ID	26
au Micro IC Card (LTE)	23
暗証番号	23
au micro ic card (lte)	
取り付けかた / 取り外しかた	23
auお客さまサポート	98
au国際電話サービス	49
au災害対策	100
auスマートサポート	99
auスマートパス	95
auフェムトセル	119
Bluetooth®機能	112
データ受信	113
データ送信	113
ペア設定	113
DiXiM	89
DLNA	89
Document Viewer	102
Eメール	52
Eメールアドレスの変更	54
検索	57
自動転送先	64
バックアップ	64
表示モード切り替え	52
フォルダ作成	60
フォルダロック	61
振分け条件	61
迷惑メールフィルター	65
Eメールの初期設定	26
FMトランスミッター	89
Friends Note	97
Gmail	68
Google Play	94
Googleアカウント	26
Googleカレンダー	96
Googleキーボード	42
設定	42
Google検索	
設定	35
Googleマップ	97
GPS	123
KSfilemanager	81
LTE	119
MHL	91
microSDカード	106
使用量の確認	107
取り付けかた / 取り外しかた	106
パソコンから操作	107
フォーマット	106
Miracast	90
MirrorLink	90
NFC	93
PCメール	66
PINコード	14
入力要否設定	45
変更	45
PINロック解除コード	14
PINロックの解除	45
QRコードリーダー	86
QWERTYキーボード入力	39
SAR	148
SMS	69
SMS安心ブロック機能	71
TVアンテナケーブル	81
USB接続	107

USBテザリング	111
VPN	115
Wi-Fi®	110
Wi-Fi®ネットワークを追加	110
Wi-Fi®安定制御機能	111
Wi-Fi®テザリング	112
YouTube	96

あ

アイコン	31
アカウントと同期	128
アカウントを削除	128
アフターサービス	147
アプリケーション	
アンインストール	122
移動	122
インストール許可	126
管理	122
起動	32
強制停止	123
最近使用したアプリ	35
削除	122
終了	35
設定	122
無効化	122
アプリケーションロック	126
アプリ電池診断	121
あわせるビュー	126
あわせるボイス	48
あわせるローテーション	120
暗証番号	14
安心アクセス for Android	101
安心セキュリティバック	98
位置情報アクセスの設定	123
イヤホンランチャー設定	121
イルミネーション	121
インターネット通話	50
インテリカラー	120
うっかりタッチサポート	120
英語表示	127
エコモード設定	122
絵文字入力	40
応答保留	49
おサイフケータイ®	91
音・バイブの設定	119
主な仕様	148
オリジナルエコモード	122
オリジナルマナー	36
お留守番サービスEX	134
音楽	88
検索	88
プレイリスト作成	88
音声検索	35

か

顔文字入力	40
仮想プライベートネットワーク (VPN)	115
壁紙	32
カメラ	85
画面の明るさ	120
画面のカスタマイズ	120
画面の自動回転	120
画面ロック	
解除	26
かんたんお引越し	127
キーボード	37
気配り着信	119
記号入力	40
機内モード	36
キャプメモ	34
ギャラリー	87
緊急速報メール	100
クイック検索ボックス	32
ケータイ入力	39

言語と入力	41
言語と入力の設定	127
言語(Language)	127
検索	35
Bluetooth®対応機器	113
Webページ	35
Wi-Fi®ネットワーク	110
アプリケーション	35
音楽情報	88
音声による検索	35
高度な設定	119
国際電話	49
国際ローミングサービス	138
電話を受ける	139
電話をかける	139

さ

災害情報 / 義援金サイト	101
災害用音声お届けサービス	101
災害用伝言板	100
再起動	144
再生	
静止画	87
動画	87
撮影	
静止画	85
動画	87
パノラマ	86
三者通話サービス	137
シアターモード	37
ジェスチャー入力	39
時刻設定	128
辞書	103
辞書ユーティリティ	41
実行中のサービス	123
自分から設定	126
自分の電話番号	49
指紋センサー	26
指紋認証	44
充電	24
周辺機器	145
受信トレイの確認頻度	67
受話音量	48
省電力	27
初期化	127
初期設定(お買い上げ時)	25
スクリーンセーバー	120
スッキリ目覚まし	103
ステータスアイコン	31
ステータスバー	31
ステレオイヤホン	145
ストリートビュー	97
スマートフォン自動診断	99
スライドイン機能	34
スライドイン機能設定	120
スライドインランチャー	34
スライドショー	87
スライドスポット	35
スライドする	30
スライドディスプレイ	36
スリープ	120
スリープモード	
解除	26
スロットカバー	23
赤外線通信	114
データ受信	114
データ送信	114
セキュリティ解除方法	44
セキュリティの設定	124
設定	118
操作音	119
ソフトウェア更新	146

た

タイムゾーンの選択	128
卓上ホルダ	24
タッチパネル	30
タッチブロックモード	36
タップする	30
端末情報	129
着信お知らせサービス	132
着信音	119
着信音量	119
着信拒否	50
着信転送サービス	132
着信履歴	48
チャンネル設定	84
通知	
Eメール	63
Gmail	69
PCメール	67
SMS	70
通知アイコン	31
通知音量	119
通知パネル	31
通話時間	50
通話中画面	48
通話の設定	50
通話明細分計サービス	137
通話履歴	48
提供元不明のアプリ	126
定型文	41
定型文入力	40
ディスプレイの設定	120
データ移行	127
データ使用	119
データローミング	139
手書きキーボード入力	40
手書き検索	35
デザインテーマ	32
テザリング	111
テレビ	81, 82
TVアンテナケーブル	81
視聴	82
視聴予約	83
初期設定	81
チャンネル設定	84
テレビリンク	82
録画	83
録画予約	83
テンキーキーボード入力	38
電源を入れる/切る	25
伝言お知らせ	135
電卓	102
電話	
受ける	49
かける	48
電話帳	80
ドックメニュー	32
ドラッグする	30
な	
内蔵ストレージ	106
使用量の確認	107
パソコンから操作	107
内蔵電池	
寿命	24
使用時間	24
ナビゲーションバー	22
日本語表示	127
入力方法	37
認証情報	124
は	
バージョン情報	129
パケット通信接続	74
パスワードマネージャー	124
はっきりタッチ	119
はっきりボイス	48
バックアップ	
Eメール	64
PCメール	67
連絡先	81
バックグラウンドデータ	119
発信者番号通知/非通知	48
発信番号表示サービス	134
発信履歴	48
パノラマ撮影	86
ハンクアウト	95
番号通知リクエストサービス	134
ハンズフリー	49
日付と時刻の設定	128
びったりボイス	48
ピンチする	30
フロント	120
ふせたらサウンドオフ	36
ブックマーク	75
フッシュ信号	48
プライバシービュー	120
プライバシーモード	
起動/解除	126
設定	125
ブラウザ	74
設定	76
フリックする	30
フリック入力	39
ブルーライトカットモード	120
フルセグ	81
プロフィール	119
ボイスメール	135
防水性能	15
ホーム画面	32
カスタマイズ	32
ホーム画面切替	34
ホーム設定	33
ま	
マイク入力	120
マナーモード	36
マルチコネクション	111
マルチメディア	121
無線LAN機能	110
迷惑電話撃退サービス	137
メインメニュー	33
カスタマイズ	33
メディア音量	119
文字入力	37
持ってる間ON	120
モバイルネットワーク	119
や	
ユーザー補助の設定	128
ゆっくりボイス	48
予定表	96
ら	
リセット	127
連絡先	80
ローカル	97
ローミングエリア情報	138
ロックNo.	14
ロック画面	26
ロック画面壁紙	124
ロングタッチする	30
わ	
割込通話サービス	133
ワンセグ	81

大切な地球のために、 一人ひとりができること。

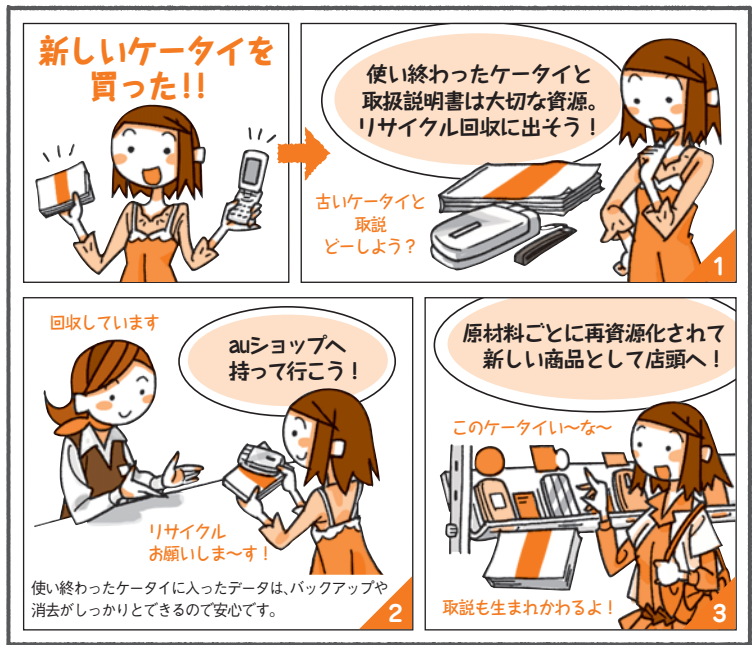
それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立っています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。

みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

<http://www.au.kddi.com/mobile/recycle>

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について (通話料無料)

一般電話からは | au電話からは
☎ 0077-7-111 | 局番なしの157番

Pressing "zero" will connect you to an operator,
after calling "157" on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、
操作方法について (通話料無料)

一般電話からは | au電話からは
☎ 0077-7-113 | 局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。
(無料)

☎ 0120-977-033 (沖縄を除く地域)
☎ 0120-977-699 (沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

一般電話/au電話から
☎ 0120-925-919

受付時間 9:00~21:00 (年中無休)



この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再
利用します。お近くの au ショップへお持ちください。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
詳細情報はauのウェブサイトをご覧ください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴
重な資源を再利用するためにお客様が不要と
なってお持ちになる電話機・電池・充電器を、
ブランド・メーカーを問わず (♻️) マークのあ
るお店で回収し、リサイクルを行っています。

2013年11月第1版

発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元: 富士通モバイルコミュニケーションズ株式会社

AMF0012 ARROWS Z FJL22 取扱説明書 (詳細版)